



あったかくなるね♪ 年末ふれあいコンサート

12月13日、台場地区センターで「年末ふれあいコンサート」が、台場高齢者在宅サービスセンターと、青少年対策お台場地区委員会の共催で開催されました。今回は、ふれあいだらん室の英会話教室「Sunshines」の皆さんが初出演で、英語の歌を披露しました。すっかり恒例となったレクリエーションタイムやビンゴゲームで盛り上がり、子どもから大人まで幅広い年齢の「ふれあいハーモニー」の歌声に思わずにっこり。お台場の街は、冬でもぽかぽか気分になれる街です。



お台場の子ども達みんな集まれ～ 越後湯沢スキーツアー

毎年、青少年対策お台場地区委員会が開催している「冬自然体験ツアー」。今年はお台場地域スポーツ振興運営協議会との共催で、1月23日夜から25日までの2泊3日、「越後湯沢・岩原スキー場でのスキー教室」へ行ってきました。



白い雪、高い空!気分はサイコー(^_^)v



見よ!この華麗なるトレインを!

お天気に恵まれた2日間、20名以上のお台場の子ども達が思いっきりスキーを楽しんできました。今回スキーが初めてという子どももいましたが、2日間の講習ですっかり上手に滑れるようになり、帰りのバスの中で認定証を手渡され、大満足!普段は海辺の街・お台場で元気に走り回っているお台場っ子達。雪山でもパワフル笑顔がはじけていました。



頑張った笑顔が素敵だね

教育講演会「親が子どもにできること」

青少年対策お台場地区委員会と台場児童館が共催で、2月6日に港陽小学校で今話題のプロゴルファー石川遼選手のお父さんの「石川勝美氏」をお招きして、教育講演会を開催しました。講演の内容はご自分が父親として心がけてこられたことや、子どもが学校を好きになるためには、学校での出来事を親がきちんと聞いてあげることが必要だというお話でした。また、大切なのは家庭がしっかりした「文化」を持っていること、親が子に残せる財産は「金銭」ではなく「生きる術」であるということ等を、時折石川遼選手のエピソードを交えながら、とても親しみやすく話していただき、参加した皆さんもさかんに頷きながら聞いていました。



100名を超える方々が熱心に聴講しました

東京レインボーウォーク!!

3月1日、2016年の夏季オリンピック・パラリンピックの東京への招致機運を盛り上げようと、レインボーブリッジの首都高速道路部分を「全面通行止め」にして、抽選で選ばれた約5,000人が歩く「東京レインボーウォーク(主催:東京都、(社)日本ウォーキング協会)」が行われました。肌寒い時折小雨の降る中、五色の手袋やマフラーを身につけた参加者の皆さんは、都立お台場海浜公園をスタートし、約70メートルの高さから都心の大パノラマを楽しみながらレインボーブリッジを折り返し、ゴールの都立潮風公園まで、約7キロのコースを歩きました。



5,000人が橋を埋め尽くしました



©東京都

べいあつぷ 読者ギャラリー



小坂善男さんの作品
「お台場海浜公園のスナップ」



多和裕二さんの作品
「海苔の摘み取り」



池田正孝さんの作品
「海洋大生まれの金魚をベランダで6年育てこんなに大きくなりました」



平田渥美さんの作品
「ダイヤモンドフジテレビ」



泥谷隆史さんの作品
「赤い船」



榎本喜美子さんの作品
「どこに行くの?」



江戸前わんこさんの作品
「幻のレインボーブリッジ」



かるがもさんの作品
「ビルの谷間の富士」



松岡栄子さんの作品
「港南から高輪に行く近道」



台場にじ子さんの作品
「レインボーブリッジ点灯」

編集部では表紙、読者ギャラリーの作品[写真・俳句・イラストなど]を募集しています。次回の締切りは5月15日(金)必着です。芝浦港南地区にちなんだ作品をお送りください。応募方法は作品にタイトルとコメントを添えて、住所・氏名・電話番号・作品返却希望の有無・匿名またはペンネーム使用希望の有無を明記の上、べいあつぷ編集部までお送りください。写真はデータでもプリントでもOKです。携帯写真も大歓迎です。読者のあなたが「べいあつぷ」を盛り上げてください。

問い合わせ・作品の送付先
住所: 〒108-8547 ※郵便番号だけで届きます
芝浦港南地区総合支所べいあつぷ編集部 電話: 6400-0011 FAX: 5445-4590
Eメール: sk-kuminnoke@city.minato.tokyo.jp

大募集 写真・俳句・イラストなど

品川駅で帰宅困難者対策訓練が行われました

1月27日、品川駅周辺で、駅周辺の事業者からなる「品川駅周辺滞留者対策推進協議会」が中心となり、震災時におけるターミナル駅前滞留者対策訓練が行われました。区内最大の乗降客を抱える品川駅周辺は、震災等で交通機関が停止すると、多くの滞留者で混乱するおそれがあります。

この訓練では、『港区全域で震度6弱～6強を記録し、電車等の交通機関が停止したため、多くの帰宅困難者が駅周辺に滞留している』という設定で、避難誘導や施設への受け入れ、大型ビジョンによる情報提供や帰宅支援等を行い、駅周辺の混乱防止に取り組みました。訓練には、駅周辺の事業者、学校等から、約1,200人が参加しました。

